

「エコシティたかつ」推進方針

(2009年3月策定、
2019年3月改定)

＜「エコシティたかつ」推進方針とは・・・＞

、地球環境危機の時代において、高津区で顕在化している自然環境、社会環境、生活環境に関する諸課題に対し、地域の多様な主体が協力して、総合的かつ多面的に取り組むための基本的な方針です。

基本理念

地球環境危機の時代に対応した、自然の賑わいとともにある持続可能な循環型都市構造の再生と創造

エコシティたかつ

緩和策・適応策・生物多様性保全への方策を、「流域」という枠組みで統合していく「エコシティたかつ」の長期環境戦略

流域志向

温暖化
緩和策

生物多様性
保全への
貢献

温暖化
適応策



＜基本目標＞

緩和策

①低炭素・省資源社会の実現

私たち一人ひとりが身近なアクションをおこし、地域／地球の二酸化炭素の削減につなげ、資源を有効に活用します。

生物
多様性

②自然共生型都市再生の推進

丘陵などランドスケープを重視した、生命（いのち）の賑わい豊かな自然共生型の都市再生を地域から推進します。

適応策

③地域に即した防災まちづくりの推進

深刻化する局地的な豪雨や洪水、渇水に対し、流域の水循環に即した“水災害適応型都市”づくりを推進します。



＜実現に向けた基本的な考え方＞

エコだけじゃ、エコは進まない！

①環境的・社会的・経済的持続可能性の実現

環境的視点を重視しながらも、社会的視点や経済的視点を取り入れた取組を推進することにより、持続可能な都市をめざします。

大地の“でこぼこ”を考えたプランニング

②地域の流域特性に根ざした事業推進

基本的な地形に配慮し、それぞれの流域に根ざした緑地保全や健全な水循環系システムを構築することは、地球温暖化に伴う自然災害への適応策として、市民が安全に暮らしていくことのできる水災害に強い都市の基盤づくりとなります。

まちのみんなが進めよう！

③多様な主体の協働・連携による推進、区民の参加促進と担い手の育成

区民、企業、学校、行政等の多様な主体が情報共有を進め、共通の目標に向かって、それぞれの役割と責任の中でできることを行い、連携することで大きな推進力を生み、相乗的な事業展開や新たな取組の誘発につなげることが大切です。

区役所の事業をエコから捉え直す

④区の事務事業の環境視点からの見直しと総合的展開

区役所の事業を環境的視点から捉え直し、必要に応じて区役所が実施する各事業間の連携を進めることにより、効果的・効率的に「エコシティたかつ」を推進していきます。

